

フランス・レンヌ市及びレンヌ・メトロポール(都市圏)の概要

フランス共和国レンヌ市とは？



レンヌ市はフランスの首都パリから約300km西に離れた、ブルターニュ半島の地域圏(州)の州都。

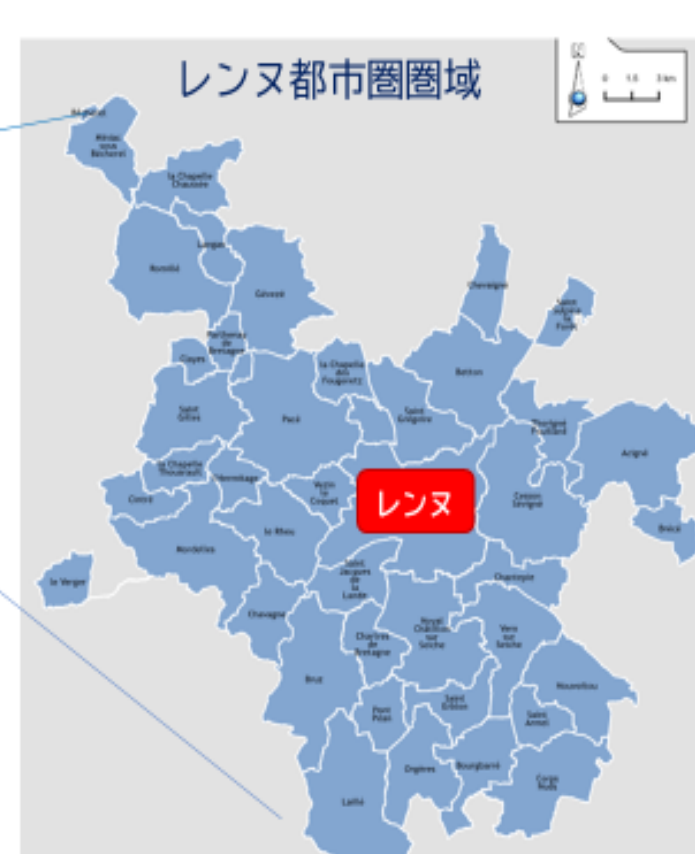
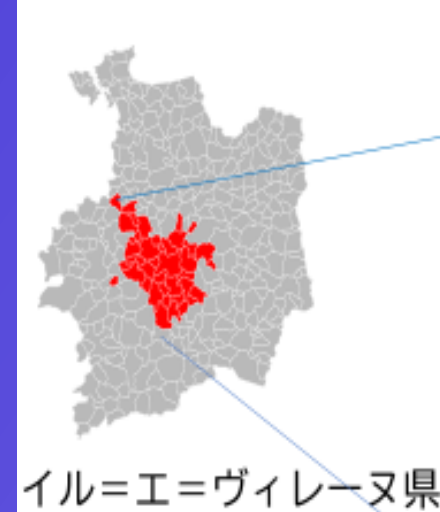
ブルターニュ州には4つの県があり、その内のイル＝エ＝ヴィレーヌ県の県庁所在地。

日本の仙台市の国際姉妹都市。

市域面積：約50km²
市域人口：約23万人
都市の位置：北緯48度06分、西経01度40分

参考：仙台市：北緯38度16分、東経140度52分
札幌市：北緯43度03分、東経141度21分

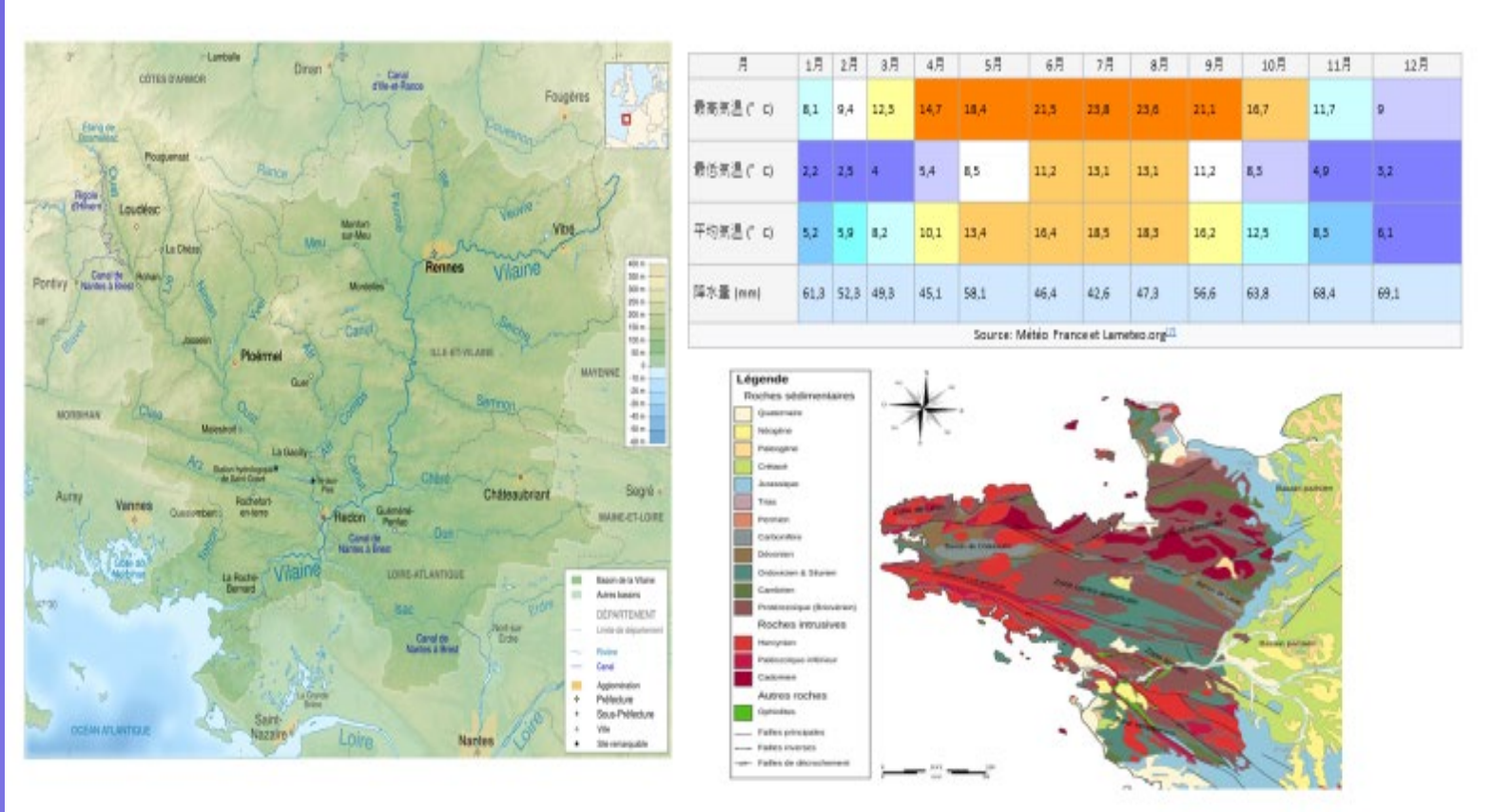
フランス共和国レンヌ市とは？



レンヌでは都市圏を構成していたが、2015年から包括圏域行政体(Rennes Métropole=レンヌ・メトロポール)として交通や都市計画などの行政機能を有している。(43コミューンで構成)

圏域面積：約700km²
圏域人口：約46.7万人

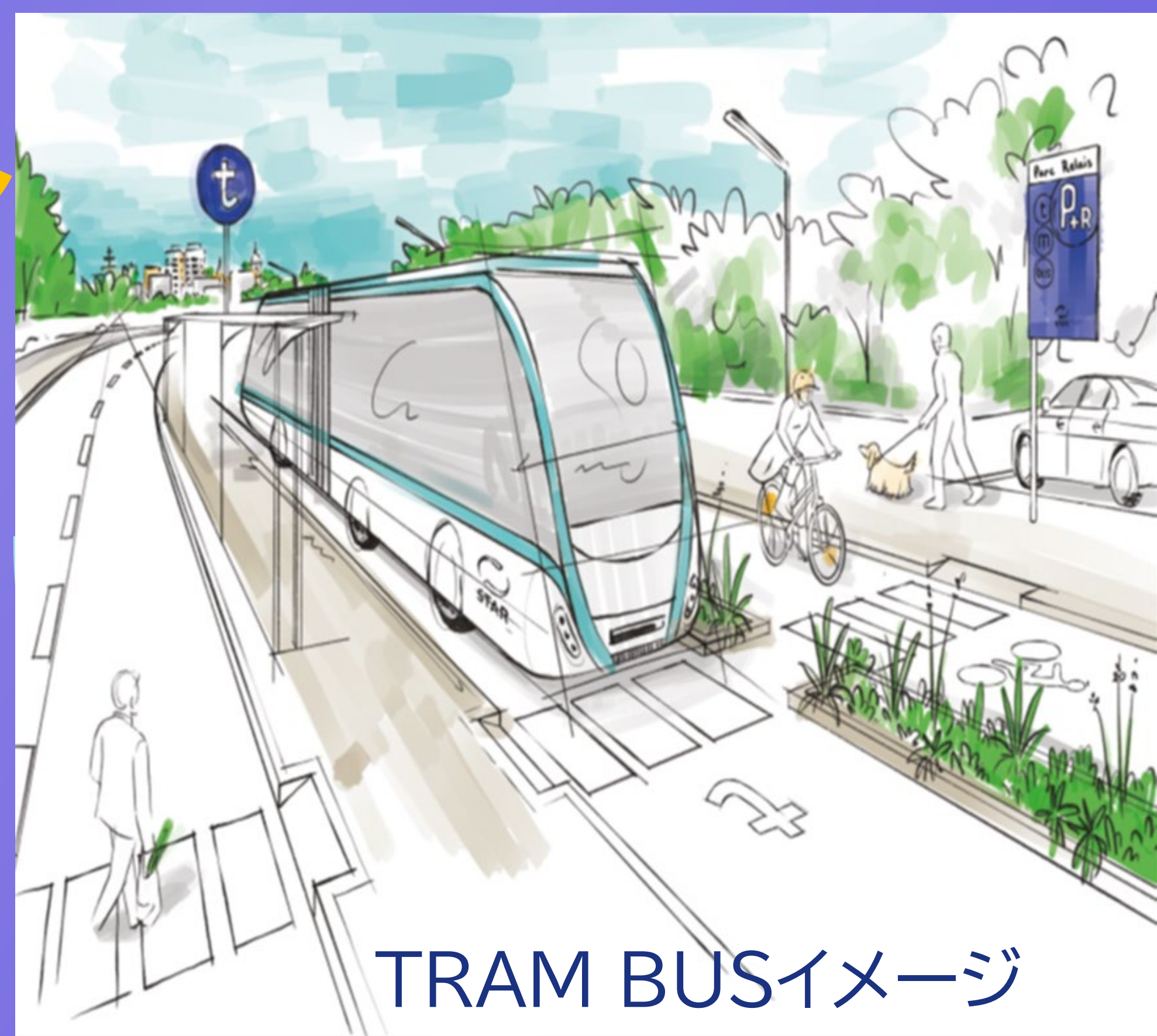
レンヌ周辺の地理状況



フランス・地方都市におけるモビリティ戦略の現在

ーレンヌ市視察調査に基づく考察ー

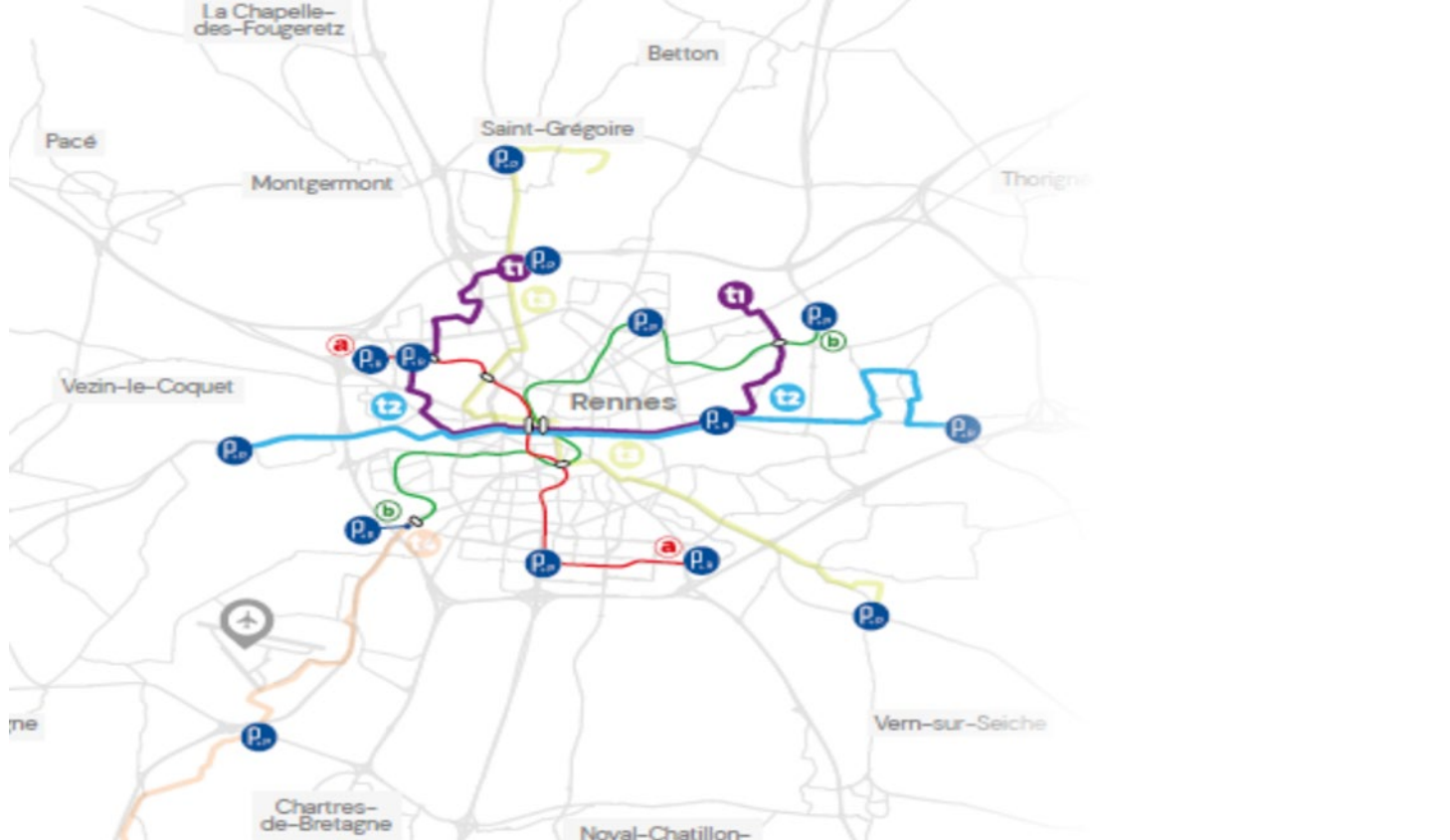
(株)ケー・シー・エス 顧問 岩崎 裕直



TRAM BUSイメージ

最近進めているモビリティ戦略

TRAM BUS整備計画

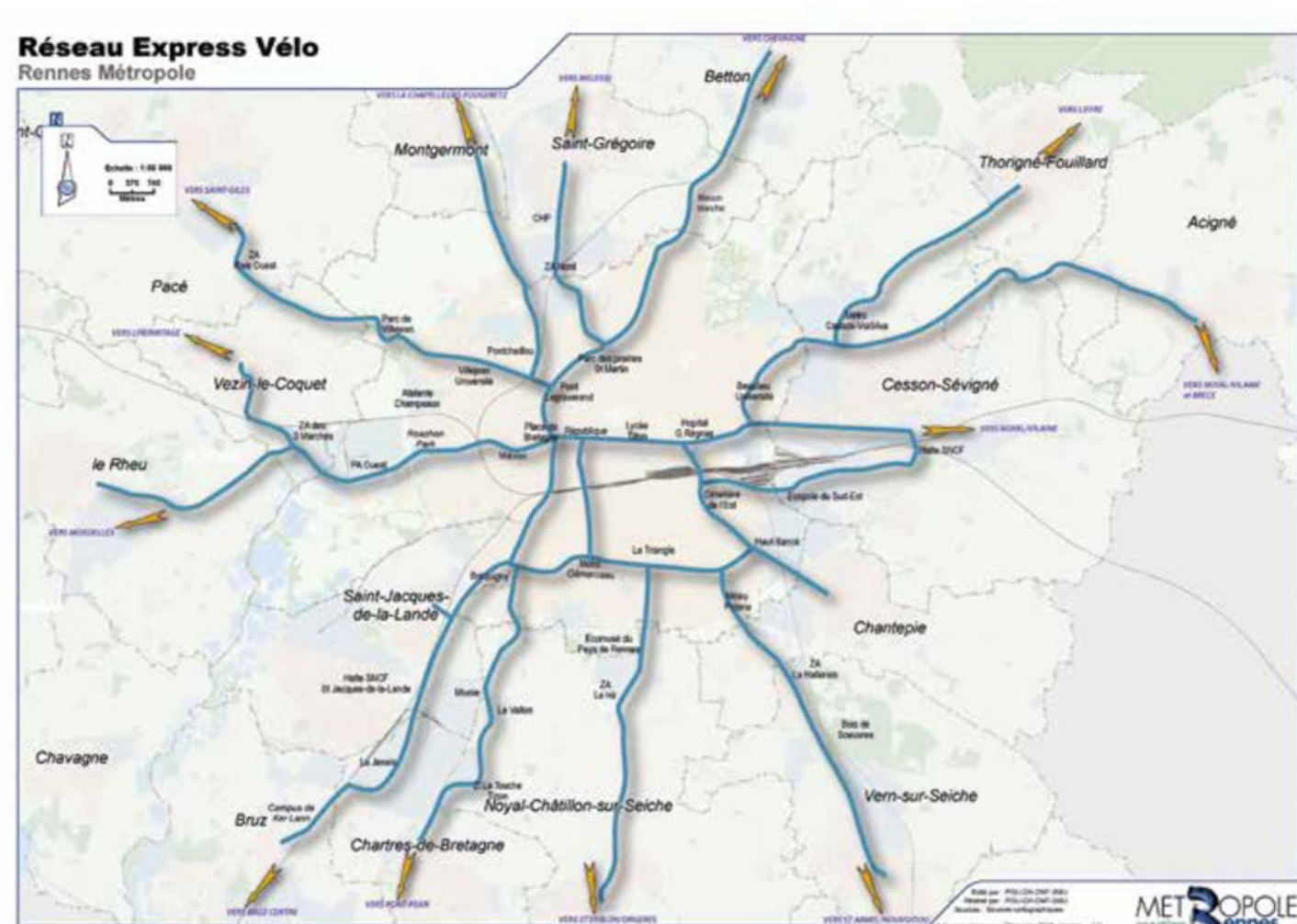


路面電車の利点とバスの柔軟性を兼ね備えた

連節電気バスで専用の走行帯を運行。(運行時間帯は平日の7時15分から午前0時15分まで、運行サービスは4～8分に1本の高頻度)

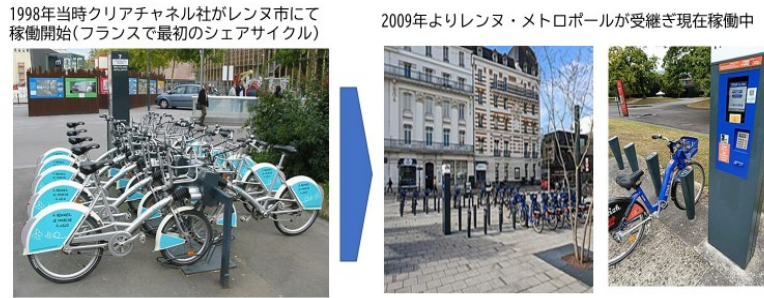
2030年までに4路線整備

REV(高速自転車ネットワーク)



2030年までに500km整備(現在104km完成)
レンヌと最初の環状都市との間にある自転車走行帯整備により構成
レンヌメトロポール(都市圏)の住民の80%が利用可能
目標は、安全な接続により平均速度20km/hに達する走行環境整備

シェアサイクル(Vélo à la carte → Le vélo STAR)



PDU(Plan de Déplacements Urbains)

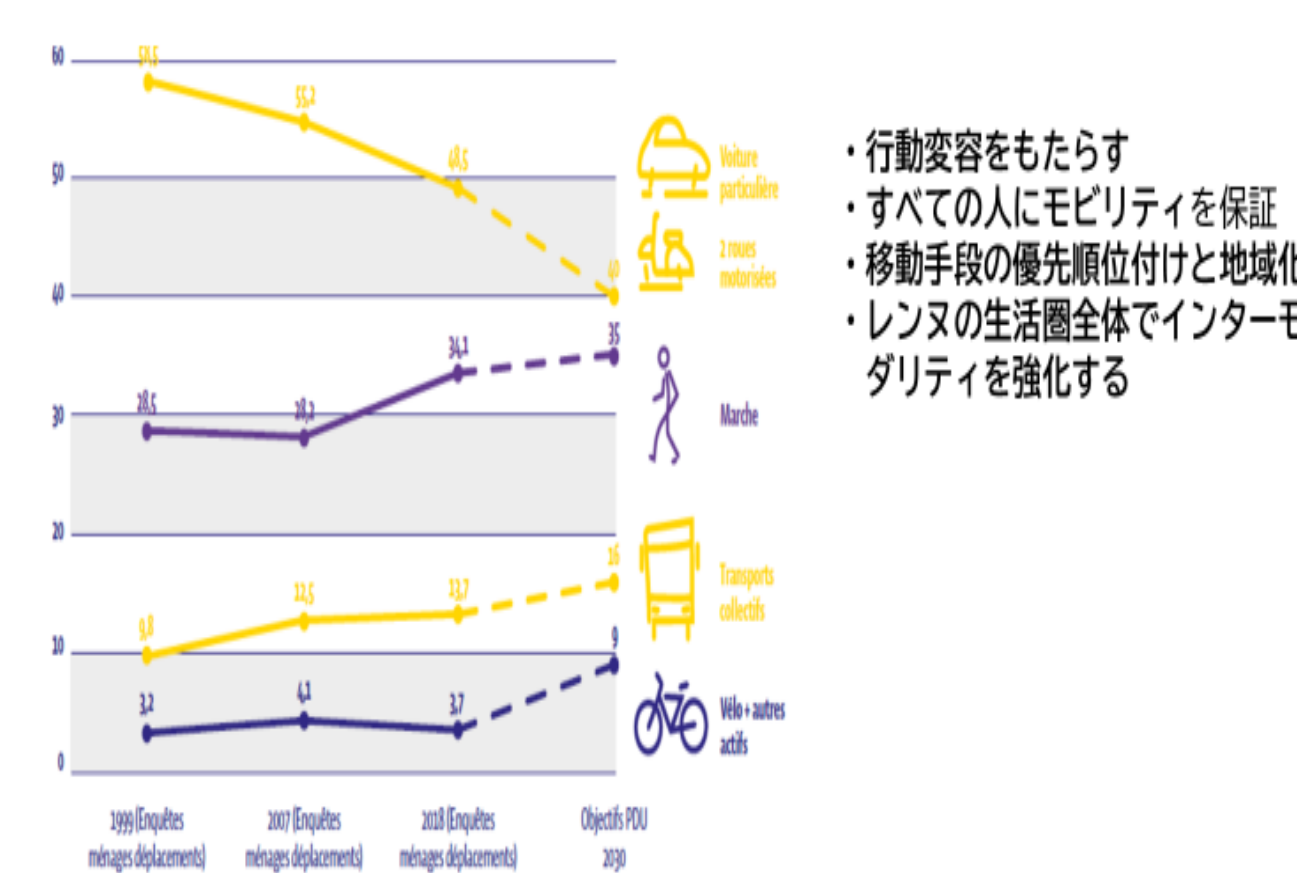


フランスでは、都市交通戦略(PDU)は、L1214-1条以降に定義されている計画文書です。
2019年12月24日の移動指針法(LOM)第2019-1428号により、2021年1月1日より都市交通戦略(PDU)はモビリティ戦略(PDM)に置き換えられました。

PDUの政策課題として、
①2030年の削減目標は40%
②2030年の都市圏人口が約60万人と推計している。
人々に移動の確保・サービスの提供
③鮮島都市を模倣しているため、都心と郊外そして離れた自治体等とのネットワーク

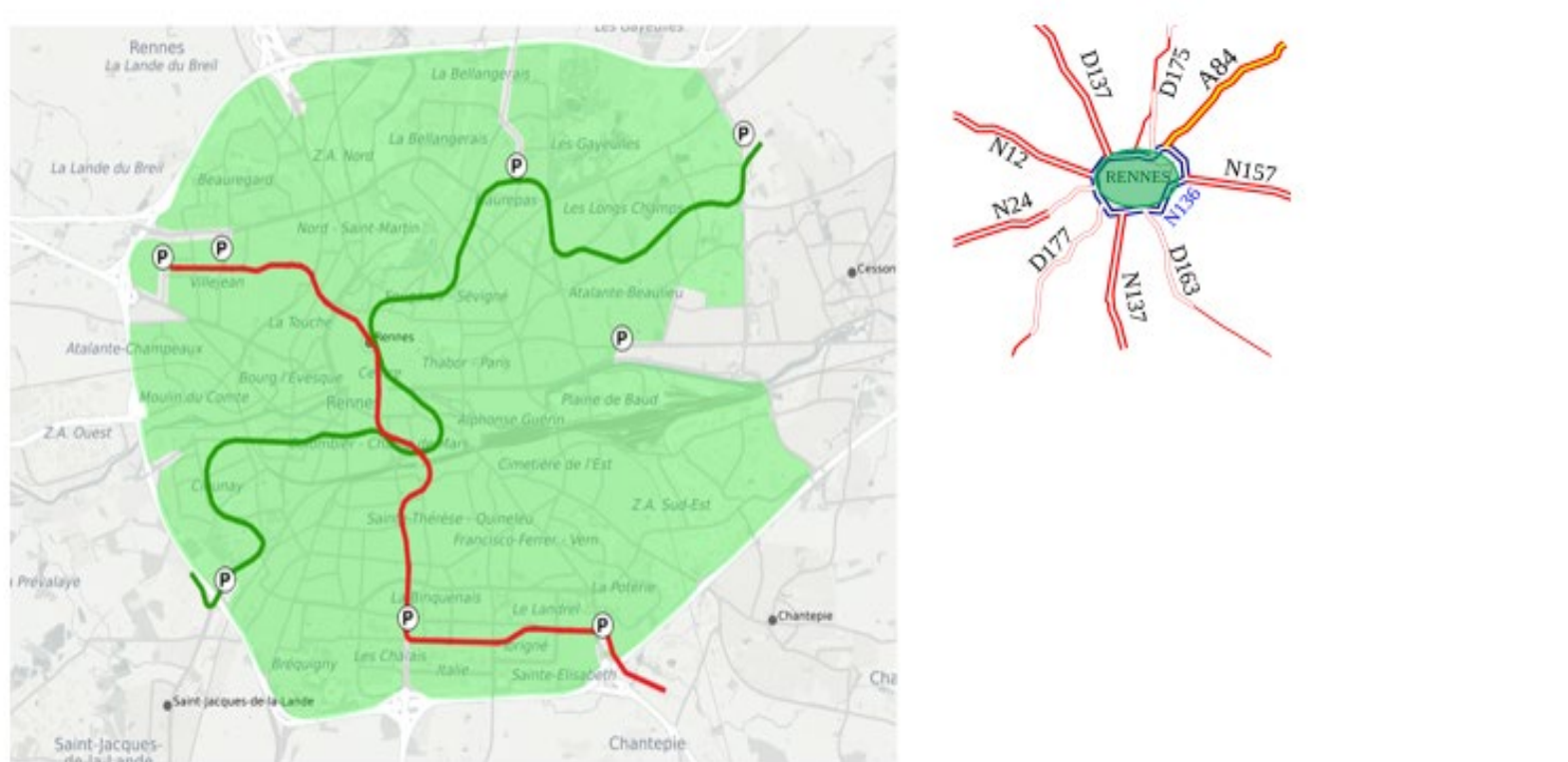
2018年に交通実態調査(EMO)を実施しました。

各交通手段推計目標と取組方針



- ・行動変容をもたらす
- ・すべての人にモビリティを保障
- ・移動手段の優先順位付けと地域化
- ・レンヌの生活圏全体でインターモダリティを強化する

レンヌ都市圏のZFE-m(低排出ゾーン規制)



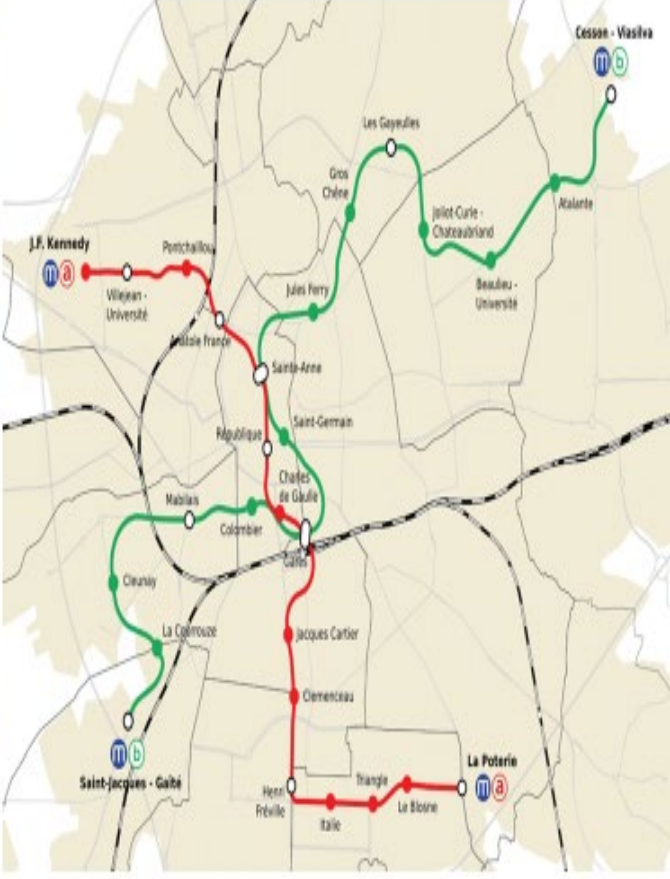
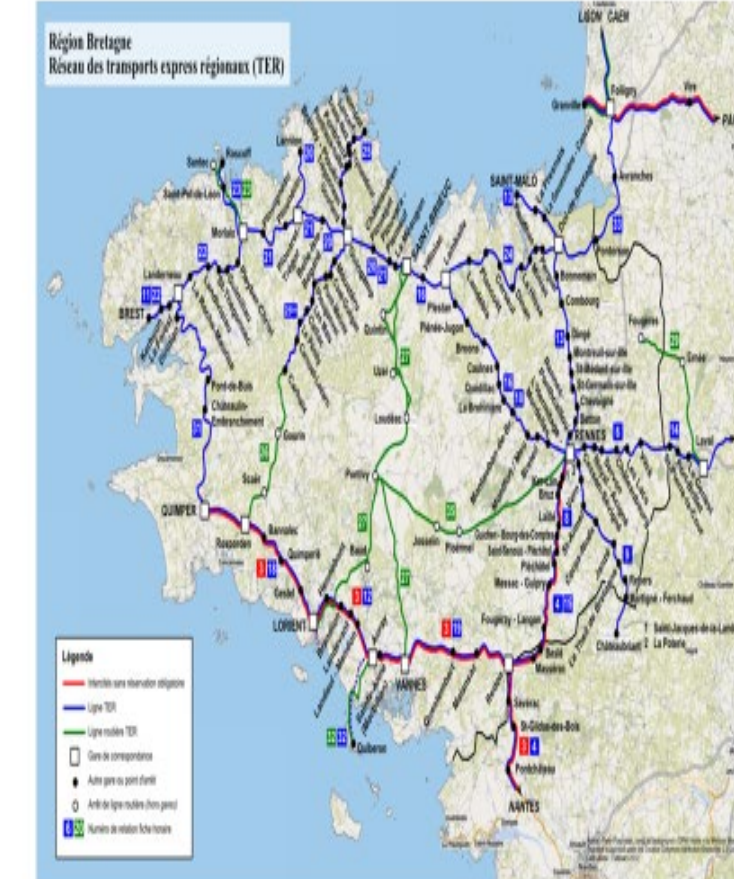
歴史的な中心地区のZTL交通規制



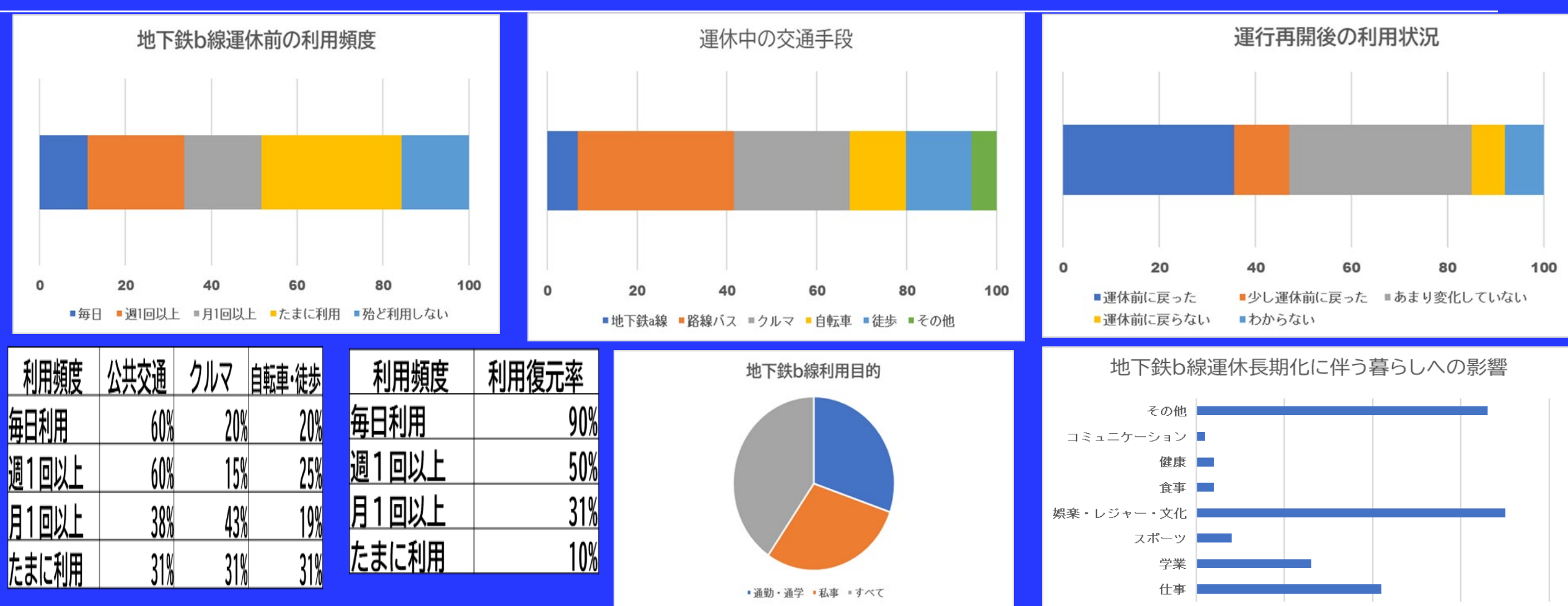
フランス・レンヌ市の空港 TGV(SNCFフランス国鉄)



TER ブルターニュ(TER BreizhGo)と レンヌ市地下鉄



レンヌ市地下鉄長期運休に関する市民意識調査結果概要



考察

レンヌ市内のある地下鉄駅近くで小さなマルシェが催されていたが、小さな露店でさえクレジットカードが使えるようになった一方で、バリアフリー対策はまだ途上にある。このようにコロナ禍における取り組み姿勢の違いが、日仏間での都市政策における差異としてより顕著になったと考える。なお、フランスと日本での都市交通に関する諸制度が異なることは留意する必要がある。フランス各都市の交通機関は公的機関が運営していることから連携しやすく、1枚の切符でどの交通機関にも一定時間・区間で利用できる。また、フランス各地方の警察は自治体警察であり、弾力的な交通運用管理が行われている。